

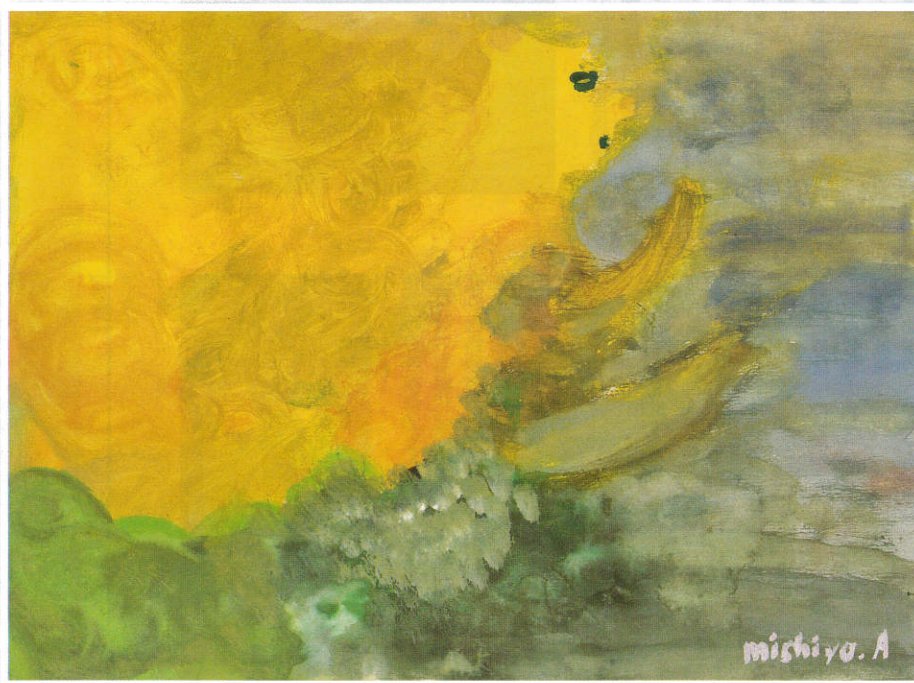
# 陽だまり通信

[季刊誌]

Vol. 44

2013年4月15日発行

## 作品介绍



新 三千代さん (四季が丘)



### CONTENTS

#### 特集 「改善事例発表会」開催

「あまのっ子」のコーナー／職員サークル紹介／施設情報  
みなさまの声／フラワーアレンジメント

<http://www.amano-reha.com>

# 特集

## 「改善事例発表会」開催

法人教育委員会

### 両下腿切断症例への義足歩行獲得と連携について

アマノリハビリテーション病院

回復期リハビリテーション課

○中山美恵子・高橋明日香・山之内雅彦

藤田 祥子・高原 涼子・寺田 千秀

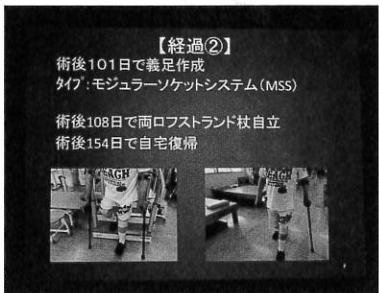
【はじめに】



近年、末梢循環障害による下肢切断は増加しており、特徴として創治癒の遅延化、易感染性、多肢切断があり、回復期において急性期医療に準ずる医学的管理が必要となる。今回パーリヤー病による両下腿切断、手指切断後に自宅復帰に至った症例を経験したので報告する。尚、本人からの同意の取得および倫理面の審査で承認を得ている。

【経過】

平成24年3月に左足部、両手指指掌部悪化認め、左下腿、両手指切断にて術後11日で当院へ転院。入院当初、創治癒不良で十分な断端形成が困難だった。また胸椎圧迫骨折後偽関節もあり積極的なりハビリを行えなかった。断端ケア方

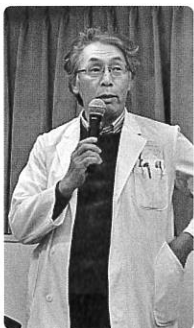


【経過②】  
術後101日で義足作成  
タイプ：モジュラーソケットシステム(MSS)  
術後108日で両口レストランド杖自立  
術後154日で自宅復帰

法指導を中心に、術後80日で創治癒認め断端形成を開始し術後101日で義足作成。義足はモジュラーソケットシステム(MSS)使用。同月中に義足作製工程を完了でき、本症例も作成開始から3時間後に歩行訓練開始。術後108日で両口レストランド杖歩行自立し術後154日で自宅復帰となった。

【考察】

創治癒不良で十分な断端形成が困難、皮膚の脆弱性、手指指掌、胸椎骨折後偽関節とリハビリを進める上で問題が多かった。しかし急性期と回復期スタッフとの紙面上のみでなく顔と顔を合わせた連携と情報、技術の共有ができたことで義足歩行を



獲得、自宅復帰できた。急性期の在院日数の短縮化、回復期の亜急性期化の流れの中で、医療機能分担化と急性期スタッフとの連携で本症例に効果的なアプローチが行えたと考える。

### 改善提案の取り組み

アマノリハビリテーション病院医事課

○正木 由衣・蓮池 恵・三田 望生

越後 千恵・中島妃登美・前原みゆき

高村 修三

【目的】

多岐に渡る医事課業務を、改善を加えることにより円滑に進め、煩雑さを減らし、サービスの向上につなげる。また、医事課全体にISOシステムを浸透させ



【結果】  
日々の業務に関して個々で対応していた業務を、全員で意見を出し合い検討することにより、方向が統一できた。改善案により、業務手順が増えたように感じたが、実際の業務についてはスムーズに行えるようになった。話し合いの場を持つことで、改善提案に対する積極性が上がり、職員意識改革につながった。

【考察】

改善内容は、部署内の業務方法が主であったが、結果として患者サービスにもつながった。中でも、毎日行う処方依頼の用紙を連番で管理すること、処方箋FAXの電話連絡を行うことで、問い合わせに時間をかけず対応でき、待ち時間軽減につながっている。又、患者さんがよく利用される薬局とのコミュニケーションも密になったことが、思わぬ収穫であった。他にも、個々で違う医師の診察予約方法も、手順を作成した

### 新人教育研修とスーパーバイザー制度について

アマノリハビリテーション病院

リハビリテーション部

○藤家 愛子・日山 景・山本 恵子

東風早弥佳

【目的】

リハビリ部では新人教育として、経験年数3～6年の先輩セラピストを付け



指導を行うスーパーバイザー(以下SV)制度を導入している。

今年度は昨年度の反省を活かし、改善を実施。結果をまとめ、来年度の新人教育のあり方について検討した。

【方法】

新人と担当SVに、バイザー制度について「①良かった事、②改善した方がよいところ、③改善案」について聞き取り調査を行った。

【結果】

●新人  
相談する相手が明確だった為、聞きやすかった。手順書を読むが理解しづらく、手順書の確認が業務時間外となる事が多かった。

●担当SV

①手順書ごとに、その分野が得意な人材(スペシャリスト)が明記されており、自身が指導するにあたり曖昧な部分をスペシャリストに確認することができた。重要度がレベル分けされており、最優先に伝える項目が



分かり易かった。是正報告書作成や酸素機器の取り扱いなどは手順書だけではイメージしにくく、指導が難しかった。

【考察】

昨年度の手順書確認は新人とSVで行っていたが、非効率であり、新人が自ら学ぼうという姿勢を低下させていた。今年度は最初に新人がPCや紙面で手順書を確認する方法を指導し、不明な所はSVに聞くという、新人が主体的に行き出る体制をとった。その結果、SVに確認する習慣がつき、相談しやすかった。

優先順位・スペシャリストを明記することによって、SVは、曖昧な情報に対してはスペシャリストに確認する事が出来、新人に重要な事から効果的に指導する事が出来た。しかし新人が直接スペシャリストに確認することは少なく、新人の活用度は低かった。

新人、SV共に手順書の確認のしにくさを訴えた。現在、ファイルを業務ごとに分類し、見やすい手順書ファイルを作成中である。また、来年度は、新人研修の中で講義・先輩セラピストからの直接指導等を行う予定である。

本年度の新人教育に加え手順書確認の効率化を行うことで、患者さんにとって更に良いサービスを



提供できるのではないかと考える。

### 療養病棟におけるレクリエーションの意義と効果

アマノリハビリテーション病院

3階病棟西

○上宮 章子・高島 澄江・谷本 道

藤谷麻衣子・岡原みゆき・村井 葉子

松野 楓

【目的】

療養患者様は、食事、入浴以外の定期的な離床時間の機会が少なく、また、離床を促して、話所前で座って過ごすだけの患者様が多く見受けられる。その結果、身体的機能の低下、感情の表出が乏しい。その為、離床時間を確保し、身体機能の維持向上と感情の表出を目的にレクリエーションを実施し、その効果を検証する。

【結果】

レクリエーションを行う事で、開始前と開始後で集団活動表の全項目が改善された。その中で有意に改善されたのが、参加活動能力とコミュニケーションと表情変化であった。

【考察】

レクリエーションを行う事で、開始前と開始後で集団活動表の全項目が改善された。その中で有意に改善されたのが、参加活動能力とコミュニケーションと表情変化であった。



レクリエーションサービスを行う事で定期的な離床を促す事ができ、他患者との交流が広がり自然に会話が増えた。お互いに気遣い合ったりするなど、病棟の中で貴重なコミュニケーションの場になったと考えられる。また、身体機能の維持向上が図れ、感情の表出の変化が見られるようになった。今後も、目的を持ってレクリエーションを継続し、意義と効果を更に明らかにしていきたい。

### 高齢者に対するレクリエーション効果

アマノリハビリテーション病院

2階東病棟

○堀田 理沙・勇地 克彦・加藤由紀子

杉岡 倫行・西畑 設子

【目的】

入院患者様は昼間、リハビリのため1日2～3時間の訓練を行われるため「リハビリで疲れた」などの発言により、病室で臥床して過ごす時間が多かった。そこで、入院生活を少しでも楽しく過ごし、気分転換をはかりながら離床時間を増やすことを目的としてレクリエーションをおこなっていくこと



を考えた。

【結果】

臥床傾向の患者様がレクリエーションを楽しみに積極的に参加するようになり、離床時間が増え、日常生活動作レベルの向上もみられた。また、他患者様とコミュニケーションをとる機会が増え、患者様同士が表情良く声をかけ合う場面が多くみられるようになった。しかし、スタッフや患者様の人数が不足しレクリエーションを行えない日もあった。ルールへの理解が難しく、理解しやすいレクリエーションに偏ってしまった。

【考察】

今まではリハビリ以外で部屋から出ることを拒んでいた患者様も、積極的にレクリエーションに参加されるようになり、自らアームウォーカーで歩行するなど、その後の日常生活に変化がみられるようになった。また、普段あまり病室から出ることの少ない患者様も自発的にテイルルームに出て気分転換をはかっていた。

認知度や日常生活動作レベルに差があり、レクリエーションによっては参加が難しい患者様もいたが、スタッフが援助することで一緒に参加することができた。楽しいゲームには意欲的に参加されるという変化がみられ、またレクリエーションを通して患者様同士の交流の発展につながった。

個々の患者様に合わせたレクリエーションを取り入れ、入院生活の楽しみとなるよう今後も続けていき

# 特集 「改善事例発表会」開催

## 個別機能訓練について

高齢者デイサービスセンター  
ゆうゆうあまの

○折出 健太・佐々木香織・濱本 一美  
中本 陽子・相川 玲子・矢谷 拓也  
亀原 庄平・藤本 弘子・佐藤奈美子

### 【目的】

平成24年4月の介護保険制度改正に伴い、個別機能訓練について、加算・内容の見直しが必要となった。



個別機能訓練計画は「生活の障害に対する一つの解決手段」であり、「でき得る限り生活を維持し、障害を改善する」ことを考慮する必要があります。できるだけ利用者の生活を意識しながら、楽しく取り組めることを目的として、訓練方法を検討した。

### 【結果】

- ① 体操時は起きて参加してもらう、という意識が職員、利用者共に高まり、参加率が増加した。
- ② 道具の使用や、掛け声の実施により、利用者も意欲的に参加され、デイの雰囲気活性化につながった。
- ③ 体操時の利用者と職員の関わりが増えた。また、毎回の記録により、状況把握も行う様になった。



④ 計画書の目標、内容を利用者と一緒に見直す事ができ、評価がしやすくなった。

### 【考察】

今までは、創作活動・レクリエーションを主に取り組み、体操は活動、スケジュールの一部であったように感じる。この度の見直しにより、個別機能訓練も特色の一つとしてアピールしていきたい。

●利用者の起床時間の確保、意欲の活性化、利用者との関わりが増えた。

●訓練内容を実施して半年以上経過した為、利用者や職員の意見を聞きながら、見直しを行い、心身状況に合わせた機能訓練が行えるよう取り組んでいきたい。



## 笑顔で会話がある食事を 目指して

「食べこぼしが減った事例」  
介護付有料老人ホームカーサミア

○西本 卓・中島とも枝・諸岡 千晶  
望月 文子・松尾 美穂

### 【はじめに】

ご入居者のなかで、食事の会話がなく摂取量も全体の半分以下で、会話をしようとする食べこぼしがあり、うがいの時もしっかりと洗面台に吐き出すことができない状態の方がおられた。この状態の改善方法を調べた結果、吹く力をつけると咀嚼機能向上につながること（ブローイング訓練）を知った。そこで今回、食べこぼしが減り、吹く力がつき咀嚼機能及び吐き出す力が向上した取り組みについて発表する。



### 【期間・対象】

8月～10月・3ヶ月間  
87歳・女性・要介護度3

### 【方法】

- ① 午後より個別でホイッスル(笛)を吹いてもらう。
- ② 吹く時間と音の大きさの変化を調べる。
- ③ 日々の変化を観察。

### 【結果】

以前より食べる時の口が閉じ、食べこぼしやだれが減少。うがいの時、吐き出す力が強くなり、ガールベースでうけないと下にこぼれ

衣類が濡れる状態だったのが、洗面台に吐き出す力がついた。また、食べ物をとらえることにより咀嚼が出来、嚥下時のムセ込みも以前に比べて減少した。

### 【考察】

食事に対する意欲向上にもつながり、簡単な作業で利用者、職員共に楽しんで行なうことができた。何よりも笑顔で会話ある食事につながったことが利用者、職員の喜びにつながった。今後も継続して出来るように口腔体操の一環として実践、嚥下機能向上及び誤嚥予防につながっていくことを期待していきたい。

## ケアマネジャーが取り組み 気づきの事例検討会

アマン居宅介護支援事業所

○堀井 利江・赤松 寛子・網本亜希子  
今野 裕美・木村 知里・玉垣 真子  
村上 和美・吉田眞智子

### 【目的】

従来の職場や地域の事例検討会は、事例提供者に対し、介護サービスなどを単に提案するだけの指示的要素が強く、支援困難事例には対応できないという指摘が上がっている。現在、支持的なスーパージョブ機能を取り入れたグループ事例検討会(気づきの事例検討会)が支援困難事例に有効な技法として注目が集まっている。私達も、この技法を用いた事例検討会を行い、従



### 【結果】

来事例検討会との違いや効果を検証した。

① 事例提供者は、質問に答える中で自分の考えが整理され、今後の対応について自らが考えられるようになることが明らかになった。

② 事例そのものではなく、事例提供者に焦点をあてて質問することが気づきを促す質問につながることが明らかになった。

③ 検討メンバーは自分達が行う質問の仕方ひとつで、事例提供者から返ってくる答えが違ってくることを知った。そのことを意識することで、検討メンバー自身も共に学習する(気づきを得られる)ことが明らかになった。

### 【考察】

気づきを促す質問を重ねることによって、「利用者様が求めているのは介護サービスの追加ではなかった」「初回面接でのやり取りがその後の援助の方向性に影響していた」など新しい視点が見つかり、再アセスメントへつなげることができた。

しかも誰かの分析や解説ではなく、8人のケアマネが検討する中で、事例提供者自身がその「気づき」を言葉にするという体験をした。こうした視点の変化を学ぶことを継続することで、支援困難事例に対応できるスキルを徐々に身につけていきたいと思います。

# あまの保育園 「あまのこ子」のローラー

子どもは豊かに伸びていく無限の可能性をうちに秘めています。子どもたちが今を最もよく生き、未来をつくり出す力の基礎を養うことを目標として、平成24年5月、あまの保育園スマイルキッズが開園されました。それまでの院内託児施設を院内保育園として刷新し、新たな一歩を踏み出すこととなりました。

保育園の基本的な役割は、子どもたちの生涯の人間形成において、極めて重要な乳幼児期を、保育の面からしっかりと支えていくことです。

皆様が安心してお子様を預け、働くことが出来るよう、「元気に、明るく、たくましい、あまのこ子」をモットーに、あまの保育園では日々、子どもたちと触れ合っています。

3月は女の子の健やかな成長を祝う節句、「ひなまつり」がありました。小さな手で一生懸命に作ったおひな様は、ほっこり笑みがこぼれる可愛さです。ひなあられを食べたり歌ったり



してお祝いをしてしま

先 日、7名の子どもが卒園しました。

「一緒にあそんでくれてありがとう」の気持ちを含めて、在園児たちにお別れ会を開きました。卒園



するお兄さんお姉さんの焼いたクッキーのおいしかったこと。お別れするのは寂しいけれど、優しい気持ち、ありがとうの気持ち、頑張る気持ちを大切に、元気に巣立っていきました。さて、新しいお友だち3名を迎え、新年度がスタートしました。

子どもたちが子どもらしい時間を過ごせるということは、やさしいようで難しいことです。私たちは、とかく大人の都合で子どもを束縛しがちです。子どもたちにとって、当園が居心地のよい空間であり、健やかな成長の助けとなるよう、スタッフ一同頑張っています。今後とも、皆様のご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。



## 職員サークル紹介

### アマンゴルフ部

アマンゴルフ部では、「アマンゴルフ杯」と冠したゴルフコンペを年2回開催しています。平成24年10月31日に第五回アマンゴルフ杯を開催(於、広島佐伯カントリークラブ)いたしました。結果は……

みごと加川診療協力部長が初参加で優勝を勝ち取られました!!  
参加資格はハートフルグループに属している職員なら誰でも参加可能です。ゴルフを楽しむことはもちろんのこと、他職種の方々と交流することで職場にて話しやすい環境が生まれ、連携を深めることができるのではないかと、この思いをこめ、平成23年4月に発足しました。これまでの参加者は平均12名、女性も4~5名おられます。職種も看護・リハ・ワーカー・介護・事務さまざまな部署から参加いただき、交流を深めることができました。プレー費は自費となりますが、水曜開催、食事込みで9000円前後くらいのゴルフ場で開催することが多いです。コンペのハンディは特殊ハンディ形式となります。初参加の方でゴルフ経験のある方は自身の直近3回の平均スコアからハンディを決めています。ハンディ上限は男性50、女性80としていますので誰にでも優勝のチャンスがあります。今回は平成25年5月15日の開催を予定しています。下手な方も上手い方も、女性も男性も、気軽に参加できるゴルフコンペです。参加人数が平均12名ではいささか寂しいです……初参加でも遠慮なく声をお掛け下さい。ゴルフを楽しみ、皆で交流を深め、顔の見えるハートフルグループを築いていきましょう!

アマンリハビリテーション病院 リハビリテーション部  
療養外来リハ課 課長 伊東 善大

順位	氏名	グロス	ハンディ	ネット
1	加川 芳郎	102	40	62
2	高原 奨	91	24	67
3	山崎 翔太	122	50	72
4	川上 恭司	82	9	73
5	高橋明日香	136	63	73
6	小林 英利	124	50	74
7	上田 翔	108	30	78
8	葛原 匡	98	19	79
9	横窪ミヨ子	112	32	80
10	北里 晃	99	17	82
11	藤田 祥子	130	45	85
12	伊東 善大	98	12	86
13	武智 晃平	137	50	87

# 施設情報

医療法人ハートフルのさまざまな施設で行われた催しを紹介いたします。

## あまのクリニック

あまのクリニック内フロア変更のご案内

あまのクリニックでは、3月に5階にあった居宅介護支援事業所を1階に移設しました。

居宅介護支援事業所が1階にあることにより、外部からも分かりやすく、皆さまの相談等をお受けしやすくなるのではないかと思います。

介護保険や、在宅での困りごとに関するご相談がございましたら、お気軽にお立ち寄りください。なお、電話番号等に変更はありません。

5F	法人管理部 カウンセリングルーム
4F	通所リハビリテーション
3F	医療デイケア
2F	外来受付・診察室 訪問看護ステーション
1F	居宅介護支援事業所 栄養課

通所リハビリテーション短時間利用の送迎サービス開始  
当院の通所リハビリテ

# みなわまの聲

① 看護師の「●●さん」の表情がこわかった。話し方もこわかった。

「ご意見有難うございました。不愉快な思いをされた事を深くお詫びいたします。本人とは何度か面接もいたし、行動に注意するように話しましたが改善しきれていないようです。職場でその状況を見受けた時、その場で指導して行くかと思いませんが、努力させて頂きます。」

② 受付をして1時間しても呼ばれなかったため、看護師さんに言ったらカルテがまわって来ないと言われました。前にも同じ事が有り、医事課の●●さんに言おうとしたのですが、不在だったので伝える事が出来ませんでした。たかが注射に1時間も待たせないようにして下さい。

ションではこれまで短時間サービス(1~2時間)ご利用の際には、ご家族等による送迎をお願いしていましたが、平成25年4月1日より送迎サービスを開始(午前・午後送迎)致しました。

**サービス提供時間帯**  
午前 9:00 ~ 12:00  
午後 15:00 ~ 17:00 の間の1~2時間

**サービス内容**  
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による1対1の個別リハビリテーション

不明な点等ございましたら、お気軽にお問合せください。  
**お問合せ先 あまのクリニック**  
0829-31-5218 担当 熊谷

## ハートフルあまの

調理活動を行いました。

1月と2月に1回ずつ調理活動を行いました。調理活動までに2度みんなで話し合いを行い、メインメニュー、サイドメニュー、デザートを決めました。たくさん出た案の中から、公平に多数決(投票)を行い厳正に決定しました。



## 折り紙教室

春は名みの風の寒さや雨ではありますが、少しずつ、その到来を感じる季節となりました。そんな四季の薫りを留めておきたい。両手で包み込める



## 望海の里

「鬼退治」

「二月三日節分の日、この日望海の里に現れた鬼を、入居者のみなさま一丸となり、豆まきならぬ新聞玉を投げて追い払おうとしました。しかし、何とも愛嬌のある変な赤鬼だったので、許してあげるこ

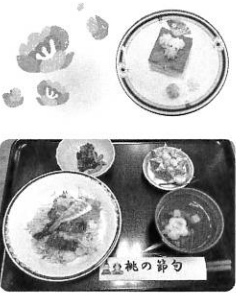


## カーサミニア

雛祭り

3月に入り、カーサミニアでは雛祭りのレクリエーションを早めの1日に行いました。当日はスタッフが寸劇を行い、入居者様にも参加していただき、楽しい時間を過ごしました。

3月3日桃の節句当日は、栄養課より行事食(春の散らし寿司・菜の花の辛し和え・吸い物・雛あられ)を提供させて頂き、3時のおやつにも雛祭りをイメージした雛ケーキをお出ししました。皆様目で楽しまれ、舌で味わって春を満喫されました。



長時間お待たせして申し訳ございません。診察が混み合った際には、医師の指示を受けるまでに時間を要することがあります。長時間待たれておられる方には受付からお声かけするよう心掛けてまいります。又、お問い合わせいただきましたら状況をお知らせ致しますので、受付にお申し出下さいますようご協力をお願い致します。



③ 3階東病棟のスタッフの皆様、明るくて、感じが良くて感じしております。これからも、よろしくお願致します。

「ご意見有難うございました。よい評価を頂き、職員一同さらに精進してまいります。と思います。スタッフの励みになりました。これからもどうか見守って頂き、率直なご意見が頂けると幸いです。」

④ いつも有難うございます。お世話になります。年初めから苦言を申し上げます。東病棟のスタッフの皆様には大変良くして頂いてありがとうございます。最近目につくのは、あいさつをこちらからしても、返事が返ってこない方が一人おられます。もうかなりのベテランの方です。患者の介護の方もたまに目に付く事が多いです。早い改善を宜しくお願い致します。

「ご迷惑をお掛け致しました。人として生活をする中で挨拶は基本中の基本だと思えます。自分(職員)から先にすべきところを、返事をしていないとの事で大変不愉快な思いをさせて頂きました。申し訳ございませんでした。病棟責任者及び課長会議で報告し、職員に喚起いたしました。ご意見有難うございました。」

⑤ リハビリが40分なのに、5分遅れて来て、5分早く終わる人(リハビリの人)がいる。

30分しかリハビリをしてもえなう。

この度は、大変申し訳ありませんでした。リハビリは、20分単位で実施する事が決まっています。今後は時間厳守と、決められたリハビリテーション実施時間を行っていただきます。本日に申し訳ありませんでした。

⑥ 理学療法士、●●はいつも5分遅れてリハビリを始める。前の患者が遅れたのならともかく、いつも机の前に座っている。そして、いつも5分前にリハビリを終わる。正味30分だ。どういう事だ。お金は40分払っているのに。

大変ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。リハビリの時間は、20分単位に実施する事が決まっております。今後は時間厳守し、決められた時間を実施できる様にします。本日に申し訳ありませんでした。

⑦ いつもお世話になっております。皆さんにはとてもよくしてもらって感謝しております。しかし、少し不満もあります。廊下で出会ってまだまって通りすぎるリハの人、若い人は比較的良好挨拶してくださいますが、年長の男の人はあまりされませぬ。OTの●●さんは、いつもきまった事しかせず、患者のその日の状態にあわせてという事もなく、本当に私のために考えてやってくれているのかと思います。わざわざ病院に来なくても思っています。

挨拶は、社会人としての基本です。スタッフに挨拶について必要な事を、しっかりと指導致します。申し訳ありませんでした。リハビリは患者さんの状態に合わせて実施していく事が重要です。本人には、リハビリプログラムの立案方法を再度指導致しました。今後は、患者さんに納得して頂けるリハビリを実施していく様、努力致します。

# フラワーアレンジメント



前原 みゆき 作

アカシアとも言われるミモザの黄色い花が  
一気に咲き始めました。イタリアでは『ミモ  
ザの日』に女性に花を贈る粹な記念日があり  
ます。  
また、ファッションの流行はパステルカラー  
に、花柄が主流で素敵な花に出会えそうです。  
クロスやクッションカバーなどに取り入  
れ、春を感じるコーディネートも楽しい季節  
です。  
さて、今回の作品紹介です。白地の陶器の  
器が少し大きかったので、こでまりを右に流  
し大きなラインをとりました。こでまりの白  
い花の密集とグリーンがとてもさわやかで、  
それを引き立てるように、カーネーション、  
トルコキキョウが入っています。  
清楚な花の代表のようなクリスマススローズ  
は、花の向きが難しいのですが、とてもきれ  
いな表情をみせています。  
今回のように淡い同系色のカラーが花材で  
は、全体がぼやけてしまう事が多々あるのだ  
ですが、大きなラインとのバランスでそれぞ  
れの花を映し出せていると思います。  
このように花の向き、配色、大きさのバ  
ランスなど色々な観点に気を配りながらの  
びのびと楽しい心で活けられた作品だと思  
います。

天野 純子…内科・リハビリテーション科 福田 裕恭…内科・心療内科 川上 恭司…循環器科 中島 康…内科・循環器科  
青森 和俊…内科・心療内科 山根 浩介…内科・放射線科 木村 浩彰…リハビリテーション科 日域 育子…リハビリテーション科  
奥田 由香…皮膚科 河村理英子…小児科 西山奈緒子…内科・リハビリテーション科

2013年4月現在

## アマノリハビリテーション病院

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時 ～12時	内科	中島 康 内科・循環器科	天野 純子 内科・リハビリ	山根 浩介 内科・放射線科	西山奈緒子 内科・リハビリ	山根 浩介 内科・放射線科	川上 恭司 循環器科
	心療内科・神経科	青森 和俊 内科・心療内科・神経科	—	—	青森 和俊 内科・心療内科・神経科	青森 和俊 内科・心療内科・神経科	福田 裕恭 内科・心療内科
午後		休診					

## あまのクリニック

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時 ～13時	内科	山根 浩介 内科・放射線科	—	休診	天野 純子 内科・リハビリ	—	—
	心療内科・神経科	福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科		福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	青森 和俊 内科・心療内科・神経科
午後 2時 ～5時	内科	—	中島 康 内科・循環器科		—	—	—
	心療内科・神経科	福田 裕恭 内科・心療内科	—	—	福田 裕恭 内科・心療内科	休診	福田 裕恭 内科・心療内科

\*急患はこの限りではありません。お気軽にお問い合わせのうえ、受診してください。 ※都合により、外来担当医が変更になる場合もございます。ご了承ください。



医療法人ハートフルは、みなさまへの  
よりよい情報提供に努めています。

医療法人 ハートフル <http://www.amano-reha.com>

## アマノリハビリテーション病院

廿日市市陽光台5-9 TEL.0829-37-0800

診療科目 内科・リハビリテーション科・神経科・  
心療内科・循環器科・皮膚科

診療時間 午前9時～12時

休診日 日曜・祝日



## あまのクリニック

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5151

診療科目 内科・循環器科・心療内科・リハビリテーション科

診療時間 午前9時～13時(受付は12時まで) 午後2時～5時

休診日 水曜・金曜(午後)・日曜・祝日

●通所リハビリテーション ●重度認知症患者デイケア

## ■高齢者デイサービスセンターゆうゆうあまの

廿日市市新宮1丁目13-1  
廿日市市総合健康福祉センター あいプラザ内3F  
TEL.0829-20-1620  
電話対応可能時間 全曜日可能  
午前8時30分～午後5時30分

## ■地域活動支援センターハートフルあまの

廿日市市新宮1丁目13-1  
廿日市市総合健康福祉センター あいプラザ内3F  
TEL.0829-20-1624  
電話対応可能時間 月曜～金曜  
午前8時30分～午後5時30分

## ■訪問看護ステーションハートフルステーションあまの

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5212  
電話対応可能時間 月曜～土曜 午前8時30分～午後5時30分

## ■アマノ居宅介護支援事業所

廿日市市串戸5-1-37  
TEL.0829-31-5213  
電話対応可能時間 月曜～土曜  
午前8時30分～午後5時30分

## ■広島西障がい者就業・生活支援センターもみじ

廿日市市新宮1丁目13-1  
廿日市市総合健康福祉センターあいプラザ内3F  
TEL.0829-20-1227  
電話対応可能時間 月曜～金曜  
午前9時30分～午後5時

## ■介護付有料老人ホームカーサ ミーア

廿日市市陽光台3-1-3 TEL.0829-37-1133

## ■発達支援教室おひさま

廿日市市陽光台3-1-3 TEL.0829-37-1166  
電話対応可能時間 日・祝日・水曜日除く 午前8時30分～午後6時